

医療的ケア児・者等支援促進事業のこれまでの取組及び今後の課題について

1 趣旨

平成 30 年度の医療的ケア児・者等支援促進事業の開始から約 4 年が経過しました。

現在、事業の担当局であるこども青少年局、健康福祉局、医療局、教育委員会事務局の 4 局で、本事業におけるこれまでの取組の振り返りと今後の課題について検討を行っています。

2 取組・課題

(1) 地域での受入れ体制の充実

ア 取組

・横浜型医療的ケア児・者支援者養成研修（平成 30 年度～）

医療・福祉・教育分野等の関係機関に所属する方を対象とした「支援者養成研修」及びフォローアップ研修を実施し、地域での受入れ体制の充実を図りました。

※支援者養成研修修了者数実績（平成 30 年度～令和 4 年度） 計 184 名

・保育所・学校・放課後児童健全育成事業所等における医療的ケア児の受入れ環境の整備（令和 3 年度～）

5 年度から看護師等の確保・育成を目的とした研修を新たに実施します。

・医療的ケア児を受入れ予定施設への受け入れサポート（令和元年度～）

受入れ予定施設職員に対し、コーディネーターが説明や研修を実施。

・多機能型拠点 4 館目の整備（令和 6 年度開所予定）

イ 課題

- ・更なる受入れ先の拡充
- ・そのための看護師等の確保・育成
- ・支援者同士あるいは支援者とコーディネーターの連携強化

(2) 医療的ケア児・者等に応じた医療・福祉・教育等の支援を総合的に調整する体制

（横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターの養成及びコーディネーター拠点の設置）

ア 取組

・横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター 6 人を養成（平成 30 年度～）

・市内 6 箇所の拠点設置（令和 2 年度～全区を対象）

※延べ相談件数 659 件（令和 3 年度：6 拠点合計）

・啓発用パンフレット、チラシの配布（令和 2 年度～）

医療的ケア児・者等への支援及びコーディネーターについての周知・啓発パンフレット及びチラシを市内の医療機関、福祉相談の拠点へ配布。

・関係機関への周知等

区役所の担当者会議において本事業の周知を行っている他、コーディネーターも担当地区の関係機関の会議等に参加し、活動の周知及び情報の把握・共有を行っています（令和元年度～）。

イ 課題

- ・関係機関とコーディネーターの連携強化
- ・コーディネーター活動の具体的な周知

(3) 医療的ケア児・者等コーディネーターに対する活動支援

ア 取組

- ・コーディネーター定例会（令和2年度～）

情報共有や課題・事例の共有・検討のため、毎月開催（令和2年度～）。

- ・フォローアップ研修（令和2年度～）

外部講師による研修、面談等を行いコーディネーターの支援を行っています。

- ・多職種連携研修（令和2年度～）

横浜市医師会主催の多職種を対象にした研修においても、コーディネーターから事例を報告。

イ 課題

- ・コーディネーターと関係機関による社会資源の創出に向けた取組

(4) 医療的ケア児・者等の実態把握

ア 取組

- ・実態把握調査（令和3年度～）

※実態把握の登録フォームの登録者 381 名（令和4年12月末時点）

- ・医療データの活用なども含めた実態把握（令和4年度～）

社会保険診療報酬支払基金が保有する医療データの活用を検討。

イ 課題

- ・登録者のさらなる勧奨
- ・登録者への情報発信の取組